

《登壇者略歴》

講演者 1

浅野 亮

同志社大学 法学部 教授

修士（行政学）。国際基督教大学教養学部卒業。国際基督教大学大学院行政学研究科修了。専門は中国の対外政策、安全保障問題を主なフィールドとする現代中国政治。著書に、『中国をめぐる安全保障』（共編著、ミネルヴァ書房、2007年）、『中国の軍隊』（単著、創土社、2009年）、『肥大化する中国軍—増大する軍事費から見た戦力整備』（共編著、晃洋書房、2012年）、『中国の海上権力 海軍・商船隊・造船—その戦略と発展状況』（共編著、創土社、2014年）、『習近平の軍事戦略：「強軍の夢」は実現するか』（共著、芙蓉書房出版、2023年）など。

講演者 2

土屋 貴裕

京都先端科学大学 経済経営学部 准教授

安全保障学博士。慶應義塾大学環境情報学部環境情報学科卒業。一橋大学大学院経済学研究科修士課程修了。防衛大学校総合安全保障研究科後期課程卒業。在香港日本国総領事館専門調査員などを経て現職。専門分野は、公共経済学、国際政治経済学、安全保障論など。著書に、『現代中国の軍事制度：国防費・軍事費をめぐる党・政・軍関係』（単著、勁草書房、2015年）、『「技術」が変える戦争と平和』（共著、芙蓉書房出版、2018年）、『米中の経済安全保障戦略：新興技術をめぐる新たな競争』（共著、芙蓉書房出版、2021年）、『習近平の軍事戦略：「強軍の夢」は実現するか』（共著、芙蓉書房出版、2023年）ほか多数。

討論者

林載桓

青山学院大学 国際政治学科 教授

専攻は現代中国政治、比較政治経済。ソウル大学社会科学部卒、東京大学大学院法学政治学研究科修了。博士（法学）。現在、青山学院大学国際政治経済学部教授。主要研究に『人民解放軍と中国政治：文化大革命から鄧小平へ』（名古屋大学出版会、2014年）、『現代中国の政治制度：時間の政治と共産党統治』（共編、慶應義塾大学出版会、2018年）。最近の著作として、“Policy Agenda and Trajectory of the Xi Jinping Administration: Textual Evidence from 2012 to 2021” (RIETI Policy Discussion Paper Series, 2023)（共著）、“Catching the Political Leader’s Signal: Economic Policy Uncertainty and Firm Investment in China” (*China Economic Review*, 2023)（共著）、“Can China Compete? Evolving State Capitalism and Military-Civil Fusion Strategy” (*The China Journal*)（単著、今後出版予定）及び“Explaining Military Reforms Under Xi Jinping: Military Effectiveness, Power Consolidation, and Party-Military Relations in China” (*Journal of Contemporary East Asia*, 2022)（単著）など。

司会

佐橋 亮

東京大学 東洋文化研究所／未来ビジョン研究センター 准教授

国際基督教大学卒。東京大学大学院博士課程修了、博士（法学）。オーストラリア国立大学博士研究員、スタンフォード大学客員准教授、神奈川大学教授を経て2019年より現職。専攻は国際政治学。主著に『米中対立 アメリカの戦略転換と分裂する世界』（中央公論新社）、『共存の模索 アメリカと「2つの中国」の冷戦史』（勁草書房）。日本台湾学会賞、神奈川大学学術褒賞など受賞。